

令和5年度 不動岡小学校の教育

加須市立不動岡小学校

1 教育理念

教育基本法及び学校教育法における教育の目的・教育の目標、小学校学習指導要領、教育振興基本計画、埼玉県教育行政重点施策、加須市人づくりプランなどに従い、児童の人間として調和のとれた「生きる力」の育成をめざし、児童個々の実態や学校及び地域の実情を十分考慮して、教育活動を展開し、家庭及び地域に信頼される学校経営を行う。

2 学校教育目標及びめざす学校像

児童一人一人が、もてる力を最大限に発揮し、友だちと関わり、自信をもって自ら取り組めるようにすることが教育の使命である。そのため、個々の児童に長期的には夢や希望を持ち続け、短期的には日々目標をもって学校生活を送るなど、高い志をもたせたい。また、友達に優しく接したり、他者を思いやる行動をとったりするなど、広い心をもたせたい。さらに、授業や様々な行事などに、力いっぱい元気よく取り組ませたい。

そこで、不動っ子の合言葉（スローガン）を「高く！広く！元気よく！」とし、教師も児童も意識できるようにしたい。

(1) 学校教育目標

自ら学び、心豊かなたくましい児童の育成

○ 考える子 ○ 助け合う子 ○ 元気な子

(2) めざす学校像 **誠意**

子供たちが笑顔で学び、力いっぱい活動し、成長することにより、保護者、地域に信頼される学校

- ・子供達が高い志と豊かで広い心を持ち、何事にも元気よく活動できる学校
- ・教職員がやりがいと働きがいをもって勤める学校
- ・教育環境が整備され効果的に活用できる学校
- ・家庭・地域・関係機関等と連携を深める学校

3 めざす教師像 **熱意**

教育公務員としての自覚をもち、自立心と自律心にあふれ、子供達に模範となる態度を示すことができる教師

- ・研究と修養に努め、互いに高め合える心豊かな教師
- ・組織の一員として、誇りと自覚をもち、意欲的に協働できる教師
- ・目標達成に向かって、計画・実行・評価・改善できる指導力のある教師

4 めざす児童像 **創意**

「生きる力」に結びつく資質や能力を身に付ける児童

- ・課題に主体的に取り組み、思考、判断、表現する児童
- ・友達と意見交換して考えを深める児童
- ・約束事を守り規律ある態度で生活できる児童

- ・感謝や謙虚な気持ちで人と接することができる児童
- ・自ら体力向上や健康増進を図ることができる児童
- ・交通事故や災害から自分の命を守ることができる児童

5 学校経営の重点

(1) 学力向上

- ・課題を踏まえた研究・実践
- ・話の聞き方・発表の仕方等、学習習慣等の確立
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - ① 知識及び技能の習得
 - ② 思考力・判断力・表現力等の育成
 - ③ 学びに向かう力、人間性等の涵養
- ・授業と連動した家庭学習や読書活動の充実
- ・各種調査結果の分析と検証

(2) 豊かな心の育成

- ・基本的な生活習慣、規律ある態度（あいさつ、返事、話し方、無言清掃等）の育成
- ・児童理解を踏まえた生徒指導と学校教育相談の充実（いじめ、不登校、問題行動の未然防止）
- ・考え、議論する道徳教育の充実（道徳的実践力の向上）
- ・個別最適化教育の推進（特別支援教育の充実）

(3) 健やかな体の育成

- ・体育授業の工夫や運動の日常化・生活化をとおした体力向上
- ・健康を意識した食生活の改善
- ・保健教育の充実と保健管理の推進（疾病等の未然予防）
- ・安全教育の推進と地域と連携した安全管理の徹底
- ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底と健康の自己管理

(4) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

- ・地域人材の活用と外部人材の発掘・活用・拡充
- ・保育園・幼稚園・中学校・高等学校・特別支援学校との交流や連携（西中学校区リンクミーティング）
- ・家庭、地域と一体なった行事等の取組の推進
- ・学校応援団の充実

(5) 教育環境整備と教職員の資質・能力の向上

- ・ICTを活用した授業の推進（端末の効果的な活用）
- ・教育効果を高める教育環境の整備（学校の緑化活動を中心に）
- ・教職員の働き方改革の推進（勤務の効率化・能率化）
- ・実情に合わせた研修（OJT）の充実と人材育成

- ・「チーム不動岡」意識の向上

6 令和5年度の努力事項

(1) 「考える子」の育成を目指して

- ・授業において子供達が課題に主体的に関わり、思考、判断、表現する場面を設定する。
- ・タブレット端末を適宜活用して基礎的・基本的な知識や技能の定着（ドリルパーク、5分間ドリル）を図り、その力を実生活で活用する習慣を子供達に身に付けさせる。
- ・考え、議論する道徳教育を充実させ、道徳的実践力の向上を図る。
- ・キャリアパスポートの充実を図り、自己肯定感、自尊感情、自己成長を促す。
- ・「不動っ子ノート」を提唱し、褒賞することで、子供達の家庭学習への意欲の喚起を図る。

(2) 「助け合う子」の育成を目指して

- ・「不動岡小・よい子の一日」を機会あるごとに確認し、徹底を図る。
- ・謙虚さ、感謝の心を高める指導や助言を積み重ねる。
- ・思いやりをもち、他者とコミュニケーション豊かに関わる指導・助言を展開する。
- ・無言掃除や美化活動に友達と協力して取り組ませる。
- ・除草タイムや花いっぱい運動を推進し、豊かな心を育む。
- ・道徳の研究（内容項目の確認）をとおして子供達の道徳的実践力を高める。
- ・「月別生活目標」の取組をとおして、日々の生活に目標をもたせ、落ち着いた生活習慣を身に付けさせる。
- ・目上の人や地域の方に対し、心をこめた挨拶ができるようにする。

(3) 「元気な子」の育成を目指して

- ・体育の授業の工夫や運動の日常化、生活化を通して体力向上を図る。
- ・交通事故や災害等から自らの命を自ら守る習慣を身に付けさせる。
- ・「早寝、早起き、朝ごはん」「歯磨きの励行」を心がけさせる。
- ・コロナウイルス感染症対策の徹底を図り、学校から罹患者をださないように努める。
- ・「高く！広く！元気よく！」の合言葉を定着させ、元気いっぱい、力いっぱい行動できるよう働きかける。